

SAH×受験模試の見方・使い方～河合塾編

1.2 年生は夏休みに河合塾の全統模試がおこなわれる(希望者)。3 年生も記述模試を数回受ける。基本は進研模試で、進研模試の見方・使い方は「進路だより」で紹介されているが、今回は河合塾の模試について紹介する。ただ模試を受けるだけではなく、問題のレベル、傾向、目指すべき得点率を知っているかで大学受験における勝負は変わってくる。(編集 教頭)

2026河合塾 全統模試(河合塾)の見方・考え方・使い方

1 主な学部によるランキング					※SS = 偏差値	河合塾のSSは2.5刻みで表示
経済						SSは2026年度最新の数字(高3)
SS	大学					《備考》 ※2次試験の話
62.5	横浜国立					①横浜国立・・・英数2科目
60	東北	北海道	筑波	千葉		→2科目(のみ)だからSSが高く出ている
57.5	東京都立	埼玉				②英国数・・・東北、北海道、千葉、金沢、新潟
55	横浜市立					③英国、数or歴・・・筑波☆「社会学類」の中に経済系有り
52.5	金沢	信州				④新潟のSSが「より低く」感じるのは数学必須だから
50	高崎経済	新潟	静岡			⑤SS60の中では千葉が1ランク難易度下がる
47.5	茨城	新潟県立				
45	長野県立	福井県立				
42.5	福島					
文						
SS	大学					《備考》 ※2次試験の話
62.5	筑波	名古屋	北海道			①筑波>東北?
60	東北	千葉	東京都立	お茶の水	東京外語	→「英国、数or歴」と歴史が選択できるため東北よりSS高い。
57.5	岡山	奈良女子	広島	大阪(外)		大阪(文)、北海道(文)も同様。
55	埼玉	金沢	奈良女子			②英国数・・・東北は「文学部」だが英国数必須
52.5	新潟					③歴史が必要なものは、筑波、都立、千葉、東京外語、新潟
50	愛知県立					※大阪(外)の歴史は世界史のみ(日本史不可)
47.5	福島	山形	茨城			④埼玉は「文」はなく「教養学部」・・・二次科目は英語のみ
工学						
SS	大学					《備考》 ※2次試験の話
60	東北	名古屋				①建築は軒並み「SS+2.5」
57.5	筑波	横浜国立	千葉	北海道	お茶の水	②理系は「東北>筑波」
55	東京都立	電気通信				③電気通信と東京農工は、基本同レベル
52.5	東京農工					→農が高いのに比べて工は比較的狙えめな東京農工、二次の配
50	埼玉	金沢	東京海洋			点高い電気通信ということで、工学系は電気通信のSSが高く出
47.5	信州	静岡				ている
45	宇都宮	富山	新潟			④学部内で学力差有り。SS-2.5～+2.5で見る(群馬大42.5～45)
42.5	群馬					⑤理系のこのSSは3年全統記述の数値なので低く出ている
40	前橋工科	山形	秋田	岩手		→1,2年理系組は+2.5の数字で見えていくといい

2 河合塾模試〔全統記述〕の考え方

①国公立の二次試験、私大一般の「学力」を測る模試

②ここ5年で「易しく」なっているので、進研模試と比べて問題の難易度にかかなりの差があるという意識はなくす

③進研模試に比べて、**受験学力層のレベルが高いので、進研模試よりSSは低く出る＝進研模試のSSと比べるのは無意味**

④模試はSSではなく「得点率」で見ていくことが大事

・進研模試・駿台模試は特に得点率で測れるように意識して問題が作られている

・それに比べて河合塾の全統記述は年によって問題の難易度差があり得点率でバチッと言うのが難しいところがある

⑤それでもあえて全統記述模試の得点率の目安を設定すると

得点率	50%	=河合塾SS52.5～55	→半分取れば「埼玉、金沢」レベル
得点率	40～45%	=河合塾SS50前後	→一般的に得点率40%が平均点＝SS50

⑥ ⑤から考えると、本校生徒が基本目指すは得点率50%。〔旧帝レベルなら65%～ ※70%欲しいのが正直なところ〕

→どの問題で得点する。裏返すと埼玉、金沢レベルなら半分取れなくていい模試。つまり、**河合塾の記述模試は「取れる問題を選択する力」を試せる模試**

→「できた、できない」で一喜一憂するのは意味がないことがわかる。大学受験最高峰の東京大学の2次試験本番は55%できれば(=45%できなくても)受かるという問題のレベル。つまり、全部できなくてもいいわけだ。

⑦となると、**大事なものは以下の視点を持った「復習」**

・例えば、受験後「50%目標だったが、実際35%だった」生徒。問題を見直して、「どの問題が取れば後プラス15%取れたか」、「この分野を克服できればプラス15%取れる！」という**メドが立つかどうか**が大事。そうすると、どの分野や教科を重点的にやるとかそのためには勉強時間を○時間増やさないととか次の目標、計画が立つ。

・「何をやってもプラス15%は無理だ」というように、メドが立たないのであれば、その大学には届かない。